

終戦  
68  
年

# 再び日本を 戦争する国には させません

日本共産党

アジアで2000万人、日本で310万人の尊い命を奪った侵略戦争の反省にたって、日本は「戦争はしない」「軍隊はもたない」と憲法で約束し、国際社会に復帰しました。

ところがいま、侵略戦争を正当化するなど、戦後政治の原点を否定する動きとともに、「国防軍」をつくるなど、憲法をかえて日本を戦争する国にしようとする危険なうごきがつよまっています。

集団的  
自衛権

日本をまもるため？

いいえ、アメリカと一緒に海外で戦争するためです。

## ●「自衛権」といっても、日本の防衛とはまったく無縁です。

アメリカのベトナム戦争、旧ソ連のアフガニスタンへの侵略——集団的自衛権は、無法な侵略戦争の口実として使われてきました。

## ●自衛隊の海外派兵のたびに問題に

日本では、アメリカの戦争への自衛隊派兵のたびに問題となり、アメリカから“集団的自衛権の行使にふみきれ”（アーミテージ元国務副長官らの報告書、2000年10月）などとくりかえしもとめられてきました。

## ●ねらいは海外での武力行使の「歯止め」をはずすこと

政府はこれまで、「いまの憲法では行使できない」と説明。だから、自衛隊がインド洋やイラクにいっても「武力行使はしない」「戦闘地域で活動しない」という「歯止め」がかかっていました。

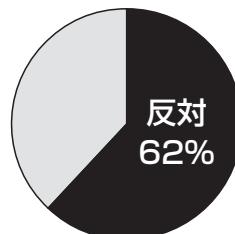
集団的自衛権の憲法解釈の見直しのねらいは、この「歯止め」をとりはらい、アメリカと一緒に海外で戦争できる国につくりかえることです。

憲法解釈を無理やりかえて、  
集団的自衛権を行使する道に

安倍首相は、歴代政府の説明をひっくりかえすため、内閣法制局長官を自分と同じ考えの人物にすぐ替え、政府の都合による勝手な「解釈改憲」で集団的自衛権を行使できるようにしようとしています。

こんな乱暴なやり方は絶対に許せません。

憲法9条を  
「改正」することに



「朝日」5月2日付

みなさんと力をあわせ  
憲法9条をまもります

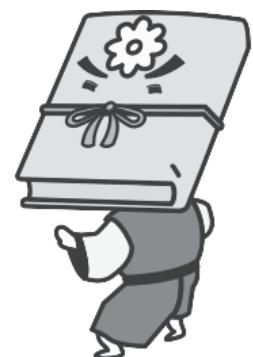
「これから戦争に行かされるのは若い世代。その人たちを守るためにも9条は守りたい」（作家の瀬戸内寂聴さん）など、いま多くの人々が声をあげています。

日本共産党はこうしたみなさんと力をあわせ、憲法9条をまもりぬくために全力をつくします。

共産党 カクサン部

検索

参院選で登場  
ネットで  
話題



しんぶん赤旗

2013年8月 号外

発行・日本共産党中央委員会 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7  
☎03-3403-6111(大代表) FAX03-5474-8358

日本共産党カクサン部!  
憲法担当部員・ポーケン師匠